

設備工事における設計図書等の構成の変更について

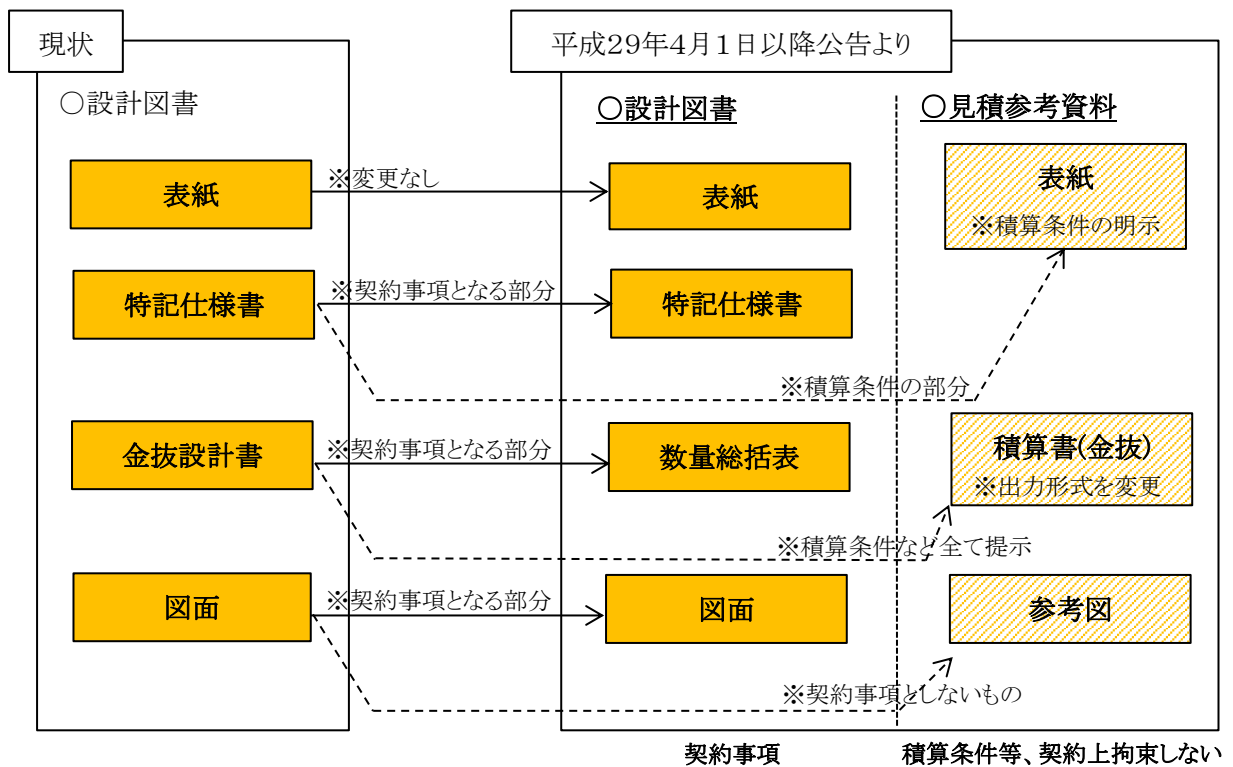
都市整備部(住宅建築局除く)発注の設備工事においては、これまで建設工事請負契約書第1条の設計図書として、入札公告時に金抜設計書、特記仕様書及び図面を提示してきましたが、契約内容のさらなる明確化を目的として、下記のとおり設計図書等の構成を変更します。

なお、該当工事は、電子入札公告にて工事種別が「プラント機械設備工事」「プラント電気設備工事」「プラント電気通信設備工事」「管工事」「電気工事」「電気通信工事」「設備補修」「機械器具設置工事」と分類されるものとします。

記

1 設計図書等の構成変更の概要

(1)構成



(2)留意点

- ・設計図書の「数量総括表」は、出来形確認・部分払・部分引渡し及び設計変更等、契約履行の基礎となります。
- ・見積参考資料は、あくまでも入札参加者の適正・迅速な見積りに供するため、発注者が想定した設計積算の内容を参考に示した資料に過ぎず、何ら契約上の拘束力を生じません。

2 適用時期及び適用案件

平成 29 年 4 月 1 日以降に入札公告を行う設備工事に適用します。  
適用案件は電子入札公告等でご確認下さい。

(問い合わせ先)  
大阪府 都市整備部  
事業調整室 設備指導G  
電話:06-6941-0351(内線 2900)

### 3 設計図書等の構成と内容

電子入札公告で交付する「設計図書」と「見積参考資料」の構成と内容は、工事内容によって異なりますので以下の分類に注意して下さい。

《工事内容による構成の分類》

・パターン1：電子入札公告における工事種別が以下のもの

「プラント機械設備工事」

「プラント電気設備工事」

「プラント電気通信設備工事」

・パターン2：電子入札公告における工事種別が以下のもの

「管工事」

「電気工事」

「電気通信工事」

「設備補修工事」

「機械器具設置工事」

※ただし、パターン3を除く

~~・パターン3：積算書(金抜)又は数量総括表に含まれる「総括情報表」において、諸経費体が以下のもの~~

~~「建築設備」~~

パターン3については、「建築設備工事における設計図書の変更について(令和6年2月)」参照

パターン1

対 象 : 電子入札公告における工事種別が以下のもの  
「プラント機械設備工事」「プラント電気設備工事」「プラント電気通信設備工事」

【設計図書】

記載内容は「契約事項」となります。

名 称	記 載 内 容
設計書表紙	・契約番号・工事名・工事場所・工期・工事種別・大要等
特記仕様書	・案件毎に要求される技術的基準や設計条件、施工条件、機器仕様書等
数量総括表	・契約工種及び数量を明示 （「任意仮設等」及び「材料、鋼材、土工等(以降、「材料等」)）」は一式契約とし、内訳となる個別数量は非表示。）
図 面	・契約事項とするもの （箇所図、工事目的物の能力・形状を示すフローシートや系統図等）

※ 特記仕様書において、ホームページ上に掲載している図書を設計図書として規定している場合、それらも設計図書に含まれます。

【見積参考資料】

あくまでも入札参加業者の適正・迅速な見積りに供するため、発注者が想定した設計積算の内容を参考に示した資料にすぎず、何ら契約上の拘束力は生じません。

名 称	記 載 内 容
見積参考資料表紙	・入札時の見積りに関連する提示内容や注意事項等を記載。
積算書(金抜)	従来の金抜設計書(総括情報表、本工事費、代価表) ・積算内訳及び一式契約の数量等をリスト形式にて明示。
参 考 図	・機器詳細図、汎用機器及び材料等の具体的な製品を例示する場合 ・任意仮設や施工のための手段に係る形状・寸法・構造等 ・材料等で一式契約とした内容を記載した平断図等

パターン2

対 象 : 電子入札公告における工事種別が以下のもの  
「管工事」「電気工事」「電気通信工事」「設備補修工事」「機械器具設置工事」  
(ただし、積算書(金抜)又は数量総括表の総括情報表において、諸経費体系を「建築設備」とするものは除く)

【設計図書】

記載内容は「契約事項」となります。

名 称	記 載 内 容
設計書表紙	・契約番号・工事名・工事場所・工期・工事種別・大要等
特記仕様書	・案件毎に要求される技術的基準や設計条件、施工条件、機器仕様書等
数量総括表	・契約工種及び数量を明示 (任意仮設等は一式契約とし、内訳となる個別数量は非表示。)
図 面	・契約事項とするもの (箇所図、工事目的物の能力・形状を示すフローシートや系統図、平断面等)

※ 特記仕様書において、ホームページ上に掲載している図書を設計図書として規定している場合、それらも設計図書に含まれます。

【見積参考資料】

あくまでも入札参加業者の適正・迅速な見積りに供するため、発注者が想定した設計積算の内容を参考に示した資料にすぎず、何ら契約上の拘束力は生じません。

名 称	記 載 内 容
見積参考資料表紙	・入札時の見積に関連する提示内容や注意事項等を記載。
積算書(金抜)	従来の金抜設計書(総括情報表、本工事費、代価表) ・積算内訳及び一式契約の数量等をリスト形式にて明示。
参 考 図	・機器詳細図、汎用機器及び材料等の具体的な製品を例示する場合 ・任意仮設や施工のための手段に係る形状・寸法・構造等

パターン3

~~対象：積算書(金抜)又は数量総括表に含まれる「総括情報表」において、  
諸経費体系を「建築設備」とするもの~~

**【設計図書】**

~~記載内容は「契約事項」となります。~~

<del>名称</del>	<del>記載内容</del>
設計書表紙	・契約番号・工事名・工事場所・工期・工事種別・大要等
特記仕様書	・案件毎に要求される技術的基準や設計条件、施工条件、機器仕様書等
数量総括表	・積算内訳及び数量を明示(総括情報表、本工事費) (ただし、任意仮設等については「任意仮設」と明示し、契約上拘束しない。)
図面	・契約事項とするもの (ただし、「参考図」と明示した内容については、契約上拘束しない。)

~~※特記仕様書において、ホームページ上に掲載している図書を設計図書として規定している場合、それらも設計図書に含まれます。~~

パターン3については、「建築設備工事における設計図書の変更について(令和6年2月)」参照

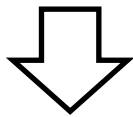
任意仮設等(一式契約)の例

【見積参考資料 積算書(金抜)】

**本工事費**				
費目・工種・施工名称	数量	単位	単価(円)	
1 仮設費				
2 仮設費(積上)				Y2999
3 仮設設備工	1	式		Y3999
4 仮設機器費	1	式		Y4999
5 仮設直流電源装置、UPS リース品	1	式		
4 仮設材料費	1	式		Y4999
5 600V CV38sq-2c 損料	1	式		
5 600V CV14sq-3c 損料	2	m		
5 600V CV8sq-2c 損料	11	m		
	43	m		

積算書(金抜)の出力形式は、従来の「内訳書形式」から、本図のような「リスト形式」へ変更。

任意仮設(一式契約)については、見積参考資料の積算書(金抜)では計上した工種が全て表示されるが、契約上拘束しないことから、設計図書の数値総括表では非表示となる。



【設計図書 数量総括表】

①レベル6行の「工事区分・工種・種別・細別」欄の表示内容は契約事項とし、その他積算要素(工法名・歩掛条件・その他施工のための手段等)については契約事項とならない。

数量総括表					
工事区分・工種・種別・細別・規格	単位	(当初)		数量増減	摘要
		数量(前回)	数量(今回)		
1 仮設費					
2 仮設費(積上)					
3 仮設設備工	式		1		
3 足場工	式		1		
1 **直接工事費**	式		1		
1 共通仮設費(その他積上分)					
2 準備費					
3 ○○搬送搬処分費	式		1		
	式		1		

大阪府

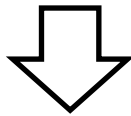
任意仮設(一式契約)については、積算書では計上していても、数量総括表では一式までの表示となり、内訳となる行そのものが表示されない。

プラント設備工事の一式契約の例

【見積参考資料 積算書(金抜)】

**本工事費**							頁0-0008
費目・工種・施工名称	数量	単位	単価(円)	金額(円)	備考		
2 鋼製付属設備					Y2999		
3 ○○架台	1	式			Y3999		
4 製作材料費	1	式			Y4999		
5 総合試運転費対象外 設計技術費及び一般管理費の対象							
6 H形鋼 150×150×7t×10t S S 4 0 0	100	t					
6 溝形鋼 [100×50×5t S S 4 0 0	100	t			第0-0002号代価表		
6 等辺山形鋼 L40×40×5t S S 4 0 0	100	t			第0-0003号代価表		
6 平鋼 FB25-6t S S 4 0 0	100	t			第0-0004号代価表		
6 鋼板 6t S S 4 0 0	100	t			第0-0005号代価表		

プラント設備工事では、材料等（材料、鋼材、土工等）を一式契約とするため、設計図書の数値総括表では、非表示となる。



【設計図書 数量総括表】

①レベル6行の「工事区分・工種・種別・細別」欄の表示内容は契約事項とし、その他積算要素(工法名・歩掛条件・その他施工のための手段等)については契約事項とならない。

数量総括表						頁0-0006
工事区分・工種・種別・細別・規格	単位	(当初)		数量増減	摘要	
		数量(前回)	数量(今回)			
2 鋼製付属設備	式		1			
3 ○○架台	式		1			
4 製作材料費	式		1			
4 工場塗装費	式		1			
4 製作労務費	式		1			
1 輸送費	式		1			
2 輸送費	式		1			
1 直接材料費	式		1			
大 阪 府						

プラント設備工事では、材料等（材料、鋼材、土工等）を一式契約とするため、積算書では計上していても、数量総括表では一式までの表示となり、内訳となる行そのものが表示されない。